

太宰府市俳句ポスト 第二百二十二回 入選者

令和六年二月十四日～令和六年五月十四日

入選句

選者 阿比留 初見

これからと云ふ学園の薔薇アーチ

北九州市 元田 品子

異国語も讃ふ国博花の苑

筑紫野市 笹倉 裕子

爪立ちて見るげんげ田の広さかな

太宰府市 吉田 秀子

受験絵馬もうこれ以上割り込めず

福岡市 角野 良生

春光や老女と孫と車椅子

朝倉郡 田中 れい子

忘れられさうな山里犬ふぐり

太宰府市 松尾 満子

初天神能登産物に人ばかり

福岡市 満重 勇二

藍染の川の音ゆらぐ恋椿

太宰府市 木村 順子

野仏の供花となりたるいぬふぐり

大野城市 岡井 由里

鳥の声宿して黙す寒椿

太宰府市 福永 恵美

心字池跨ぐ反り橋樟若葉

福岡市 白井 道義

木に絡み風になびくや藤の花

太宰府市 西元 治雄

晴れきらぬ空よりこぼれかかり藤

福岡市 河野 京子

老梅の添木も朽ちてなほ咲けり

太宰府市 吉嗣 のり子

待春の絵馬その中に孫の名も

太宰府市 中島 祝乃

なつまつりてんじんさまのおとおりだ

太宰府市 矢羽田 ゆり（七歳）

明日はね母の日だよねなにあげよう

太宰府市 後藤 翠那（九歳）

こいのぼりひらひらおよぐやねのうえ

太宰府市 渡辺 彩夏（十歳）

小雨ふりつりがねそうが咲き始め

太宰府市 二宮 晴（十一歳）

あおさぎのいつも仲良し花しょうぶ

太宰府市 後藤 涼那（十一歳）